

◆ *Yokoso Obara Linkai*
山里暮らしのあれこれ

Take Free [0円]

おばらのじかん

— 第31号 —

2024 Summer

巻頭
特集

小原に1万本も植わる秋に咲く桜そのルーツに迫ります

四季桜とまつりの始まり



小原の花咲かしいさん、ばあさんたち

[小原中学1年生恒例の四季桜の挿し木に挑戦!]

[ようこそ小原へ]

[マンガイカくんキンちゃんの小原日記]

[小原いろいろ情報]



小原人集まれ!
「ようこそおばら委員会」

小原人
以外でもOK

巻頭特集

四季桜と まつりの始まり

小原地区では毎年11〜12月にかけて四季桜という桜が地区中に咲き、11月には「四季桜まつり」が開催されます。



平成9年11月9日 第1回の小原四季桜まつりが始まった瞬間!



最初期の四季桜まつり会場の様子(現在の小原ふれあい公園)



なぜこんなにも四季桜が植えられているのか？
「四季桜まつり」はどうして始まったのか？
今回四季桜の普及に携わった5名の方に集まっていただき、当時の貴重なお話をたくさん伺いました。小原に四季桜を咲かせてくれた小原版「花咲かじいさん」ばあさんたちの物語は、多くの方々のお苦勞と努力が詰まったお話でした。

【四季桜の歴史】

小原の四季桜は文化7年、小原北町の藤本玄碩という漢方医が名古屋方面から譲り受けた苗木を植えたのが最初で、これが親木になり広まったと言われています。この親木は明治34年に福原小学校が建設される時、学校のシンボルにしたいと懇願されたため藤本家から運動場に移植されました。昭和9年室戸台風により倒れ枯死してしまいましたが、その子桜から分かれた孫桜が現在の小原の四季桜の中心になっています。

※四季桜まつり開始当時の小原商工会小原観光協会会長であった加知國さんもお声かけしましたがご事情により欠席

- 牛田朝見さん…元市議会議員
- 小原商工会小原観光協会元事務局長
- 山内千秋さん…旧小原役場企画振興課課長補佐観光担当
- 柴田巖さん…元村議会議員、小原商工会小原観光協会元会長
- 大林鈴彦さん…豊田市森林組合元職員
- 大内健さん…小原観光協会元事務局長

まずは、なぜ四季桜が小原にこんなにも植えられたのですか？
それは昭和53年に板倉宏さんが村長に就任された時、小原の木、花、鳥を決めることとなった。村民から募集して木は「四季桜」花は「ささゆり」鳥は「うぐいす」になったんだが、決めた方がいいが当時、四季桜はあまりに少なくてね。

「ちにも欲しい！」と。そこから他のお宅に植えられたのだと思うよ。当時郵便局員だったので村中に何本あるのか数えて回ったから数十本しかなくて、村の木を決めたところで桜がないわけだから、さあどうしよう？と困ってしまっ。そこで祖父江の園芸家はどうやって増やしたらいいのかが相談にいったところ、最初はそこでも増やし方が分からなかったんです。でもあちらも研究してくれて四季桜の一部を切り取り初根させる「挿し木」でつくることがわかり、ようやく昭和56年に今のふれあい公園に230本植えられました。

「四季桜まつり」はどんな経緯で始められたのですか？
実は元々は、治山をしていた森林組合の方が趣味で自分の家で「挿し木」をしていたんです。それを見た西尾さんが大々的にやってみようと始められたのですが、相当苦勞されたと思いますよ。

「家庭に少し植わっていたくらいよね。」
そうそう、平岩のお宅に自分達で増やした桜が何本かあって、秋に桜が咲くものだからみんな珍しがって「何の木だ？う

「私も欲しい！」と。そこから他のお宅に植えられたのだと思うよ。当時郵便局員だったので村中に何本あるのか数えて回ったから数十本しかなくて、村の木を決めたところで桜がないわけだから、さあどうしよう？と困ってしまっ。そこで祖父江の園芸家はどうやって増やしたらいいのかが相談にいったところ、最初はそこでも増やし方が分からなかったんです。でもあちらも研究してくれて四季桜の一部を切り取り初根させる「挿し木」でつくることがわかり、ようやく昭和56年に今のふれあい公園に230本植えられました。

「私も欲しい！」と。そこから他のお宅に植えられたのだと思うよ。当時郵便局員だったので村中に何本あるのか数えて回ったから数十本しかなくて、村の木を決めたところで桜がないわけだから、さあどうしよう？と困ってしまっ。そこで祖父江の園芸家はどうやって増やしたらいいのかが相談にいったところ、最初はそこでも増やし方が分からなかったんです。でもあちらも研究してくれて四季桜の一部を切り取り初根させる「挿し木」でつくることがわかり、ようやく昭和56年に今のふれあい公園に230本植えられました。

「でもこればかりは自然のことだから仕方ないよなあ。」
ですすよねえ。この年新聞に載ると次の年もお客さんが大勢みえるし、役場に問い合わせの電話がひっきりなしに入り、と大変でした。これは何とかしなければ！と商工会と観光協会の会長だった加知さんに相談に行つたんです。私は「この状況を放つておくと大変なことになりますよ…」と云ってしまつたんです。加知さんは「みんなイベントなんてやったこともないのにやれるのか？」と心配しましたが「やるかどうか今は何とも言えませんが、私に任せていただけませんか？」と大口をたたいてしまつて。それからもう大変でした。まず商工会のみなさんに説明し協力をお願いして、商工会と観光協会で実行委員会を立ち上げました。まずはお金の問題、どうしようかという時にたまたま県の事業で地方振興事業があると教えてもらい、3年

「次は祭りの内容ですが、大口をたたいたものの何をしているものかさっぱりわからず苦勞しました。何とか事業計画書を作り実行委員会に許可をもらい、役場と和紙のふるさとでお祭りができる計画が立ちました。」
初めはどんなお祭りでしたか？
第一回は平成9年11月9日でした。ささやかなお祭りでしたよ。まずは「花より団子」で食べるものがいると商工会に頼んだのですが、誰もやったことがないので儲かるか全くわからないなかで露店を出してもらいました。駐車場も整備されていないところが上がって大変だったなあ。

「露天商がすぐに来るからなあ。」
露天商を入れてしまうと地元の方が売れなくなりそうですからね。

「実際軌道にのつてくると露天商の方が何件も店を出したいと来ましたよ、でも全してお断りました。その後2年お祭りの担当者をして後は牛田さんに引継ぎましたね。」

「西尾さんが挿し木に成功されたので苗木ができるようになって、小原役場が全戸配布を始めたわけですね。」
昔はどのお宅にも一本ずつありましたね。それで小原中に広まったのですね。

「西尾さんが挿し木に成功されたので苗木ができるようになって、小原役場が全戸配布を始めたわけですね。」
昔はどのお宅にも一本ずつありましたね。それで小原中に広まったのですね。



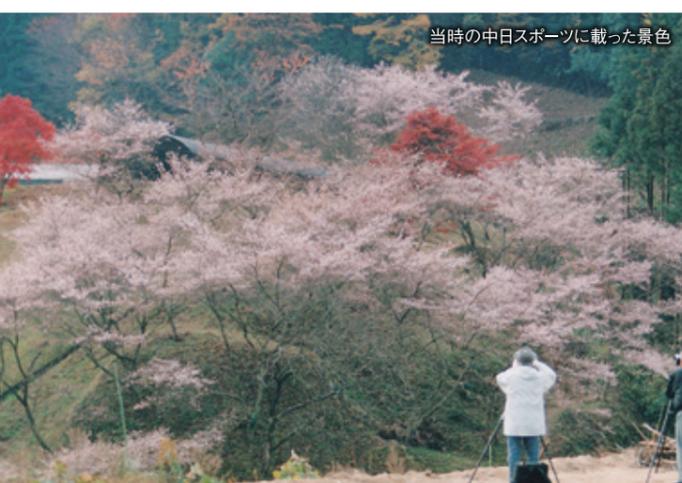
「挿し木」なんて知らないで、木を曲げて傷をつけて砂をかけて増やす「取り木」が主流だったなあ。
あと山桜を切つてそこに四季桜の枝をさして縛つて増やす「接ぎ木」をしていたね。
森林組合の西尾くんが「挿し木」に成功してから一気に増えたね。

「四季桜まつり」はどんな経緯で始められたのですか？
私は当時小原役場で観光を担当してましたから、私が一番詳しいかもしれません。
平成7年12月10日に突然中日スポーツの記者の方が訪ねて来られて、役場の桜が満開なのにびっくりして取材をしたというのでした。それで私が小原中を案内してその記事が12月12日の新聞の二面に載つたの



「役場では餅つき大会をしてお餅を配って食べ物露店を出して、和紙のふるさとではお茶をさされてる方にお願ひして野立てをしました。それだけで寂しいから琴の演奏と露店をも出しましたね。」
当時商工会、農協、森林組合と協力してお店を出した覚えがありませんね。
「当時商工会員じゃないとお店を出せないと決めました。」
「そうでない」と外から

「当時の中日スポーツに載った景色」
「当時の中日スポーツに載った景色」



当時の中日スポーツに載った景色

初めは二箇所だったんです。川見のお祭りはいつから始まったのですか？

川見はまだまだ先で桜を植え始めたのが平成9年、ちょうど二回目のお祭りを始めた頃ですね。

前々から植える計画はあったけど植えようとした山が保安林で手が付けられなくて、場所をずらしたんだ。そこが孟宗竹の竹藪で雑木だらけでもう大変でした。

森林組合に委託して6年かけて毎年少しずつ伐採して植林しました。山の地主さんに柴田さんが声をかけられてお願いして今の広さになったんです。

その時、村会議員をやっている川見の方にはものすごく協力していただいたなあ。

孟宗竹は根が強く切っただけでは枯れないんです。1本1本自分で薬品を入れて行きましたね、それはよく覚えてます。役場の桜が老朽化してきてあまり咲かなくなってる川見を



始めなければと、川見の方がずいぶん頑張ってくれましたよ。

伐採と植林は森林組合に任せてたのですがその後肥えをやったりと管理は川見の方がよくやってくれましたね。

柴田さんはすごいですよ、先駆者ですよ！川見の桜や楓もご自分も植えられたし、柿ヶ入沢散歩道は構想から補助金を申請して桜や楓の手配などのされたんです。



あの頃はね、ただ東海豪雨で流れちゃった木もたくさんあるがね(笑)。

お祭りが始まったのは平成18年頃ですね。

祭りをするといいっても駐車場もなく近く工場の駐車場を借りたんですが、草だらけで何日かけて草刈りをしたね。とにかくすごいお客さんで毎日30台も観光バスが来るし、渋滞も藤岡のメグリアまで続き、藤岡地区から苦情がきて確かに行つたなあ。今はどれくらいのお客さんなのかな？

そうですね、1ヶ月で観光

バス30台くらいですね。あの頃は千秋さんも牛田さんも朝早くから遅くまで本当によくやっていたよな。

お客さんの車が1台でもあると帰れないんです。夜遅くに来る観光バスがあつたり、早朝に写真を撮りに来るテレビ局や新聞社があつたりと。

バスで来た方が帰れなくなつて岐阜の駅まで送つたことも何度かあつたな。

これだけ小原の四季桜が広まったのはどうしてでしょう？

キャラバンとって新聞社と旭や足助の方と一緒に色んな観光会社に宣伝に行きましたよ。だから北海道から九州まで全国からお客さんが来ましたね。名古屋のテレビ局にも行つたし中日スポーツにも毎年載せてもらいました。最初に載せてくれた黒野さんという記者の方は毎年来て記事を書いてくれました。



私も引き継いでからキャラバン組んで中京テレビをはじめ、NHKなどの各テレビ局、

四季桜のお手入れについて——小原四季桜愛護会——



左が酒井さんで右が水谷さん

話になっていったそうです。とはいえ、四季桜については詳しくなかった酒井さん、こじま苑の関係で関わりのあつた(公)日本さくらの会の専門知識のある方に小原の四季桜をみてもらうことから手入れは始まったそうです。

小原四季桜愛護会は小原のシンボルである四季桜を小原地域の活性化に資するとともに、次代に適切に継承するため四季桜に関する資料の保存、小原地区内における普及、保全活動を進めるための会です。

小原観光協会の事務局長で、小原四季桜愛護会の事務局水谷さんと、愛護会の手入れを教えてください。酒井さんにお話を伺いました。

酒井さんは小原にある小島プレスが所有する庭園「こじま苑」で造成工事に従事した後、こじま苑の責任者となり、桜の管理や保全などをおこなっている造園のプロフェッショナル。たまたま、地元のバス旅行のなかで、先代の事務局長の大内さんと会い四季桜の手入れのお手伝いできなにかとその場で聞かれ手伝う



剪定作業の様子

また、愛護会がなかった頃、植えていた人はみな素人だったこともあり、木と木の間隔が随分狭かつたり、枝の剪定もすっかりされてなく、切つたことにより逆に四季桜を痛めてしまうようなやり方をしてる木もあつたようです。四季桜愛護会が活動をはじめたときは、大きく



幹にようにカットするもケレイ

なつた木と木の間を開引いて、空けたり、根本的な部分でかなり多く手をいれたようです。「人間も木もいっしょ。剪定したところは傷口と同じ、皮がめくれるなど、傷まないように丁寧に切つてあげることが大事。そうすることで、治りも早く、傷口をケレイに巻き込むようにふさいでくれる」と熱っぽく教えてくれました。酒井さんの桜への愛情も感じました。

水谷さんに主な活動を聞くと6月と10月に草刈り、剪定、1月中旬には苗木配布などをおこなっています。愛護会構成メンバーは現在50名、小原観光協会の理事や四季桜まつり出店者、有識者と関係団体で構成されているそうです。新しく入ってもらえる人も少ないので、ぜひ小原四季桜に関心のある方にはメンバー



T.S



作業の前は座学から

愛護会で教えてもらうと木の見方が変わって、あの枝はいらないな〜と剪定を試みたくなつたり、木の枝が健全かもわかるようになります。もし四季桜の愛護活動に興味のある方は小原観光協会までお問い合わせください。



祭りが始まった頃の渋滞の様子

NHKで全国放送された時は嬉しかったなあ。

私の時は県の観光協会の方が海外にも宣伝したらどうかと一緒タイ、ベトナムに行きました。現地の旅行会社に宣伝して、あちらがツアーを企画してくれました。2・3回は行つたかな。

とにかくみなさんが本当に協力してくださつて、商工会も観光協会も地域の方々も、それだから何とかできました。千秋さんが引張つてくれたね。みんながついて行きましたよ。

やっぱり観光の仕事は面白い

かつたですよ。あの頃は大変だったけど仕事して二番楽しかったなあ。

若かつたから、何とかしなければ！という気持ちでやりましたけど、本当に皆さんの協力があつたおかげです。

四季桜の本数は小原が日本一です。続いていくといいですね。みなさんが二丸となつて四季桜まつりを始められたことがとても伝わりました。これからも協力して守つていきたいですね。貴重なお話をありがとうございました。

A.N

小原中学1年生恒例の四季桜の挿し木に挑戦！



右の花壇は先輩たちの育った四季桜

5月22日、小原中学校1年生22名による、春と秋に咲く四季桜の挿し木をしているところへお邪魔しました。生徒たちは小原地域の安藤篤氏さんと加藤英二さんから四季桜についての話や、中学2年生、3年生の先輩達が1年生の時に、挿し木をし、成長をした四季桜を見学してから、挿し木に挑戦をしました。細い枝を5〜6センチ位に切り、葉を半分に取り、発根剤をつけプランターいっぱい挿し木をしました。



右に咲く先輩たちの四季桜

来年にはプランターから植え替え、中学卒業時には1m位に成長した四季桜を記念樹として持ち帰り自宅などに植えます。1999年から行われている小原中学校の伝統行事。ご自宅の庭で、とても大きくなったご家庭もあるのではないのでしょうか。



この四季桜の一部は東日本大震災で被災した岩手県陸前高田市にも寄贈しているそうです。小原中学校が、地域とともに「小原の四季桜」の挿し木の授業を継承していくことを期待しています。

M.K



家庭菜園で野菜を収穫!

「理想の古民家を探し続けて約10年。やっと、小原地区の空き家バンクで見つけた。」という強面の俳優、ドラマや映画の製作プロデューサーなど多彩な西村信彦さんは、小原地区で映画などの撮影も数々手掛けている。

小原地区で撮影することで、ドラマや映画を通して地域の魅力をPRできるのももちろん。



撮影現場の西村さんとスタッフ

製作現場を見学した地元の子も、表現の舞台が、能人の芸台で、人だくなく、裏メ

イク、衣装、製作部、監督の仕事を見て、自身の夢が広がり、将来この仕事に就きたい!と選択肢のひとつになると嬉しい。とも話してくれました。そして、「夢は見るものだけでなく、叶えるために見てほしい、現実には近づきたい、ちょっとした努力でなれる」と熱く語ってくれました。

さらに西村さんは、「町へのあこがれもあると思いますが、田舎のあこがれもありませんよ。」「蛍が見られる、夜空の星がとても綺麗。」「縁側に座ってこの大きなカエデを見ながらノンビリした時間を過ごせる幸せ。」「自分で作ったキウリやナス、トマトなどの採れたてをいただく贅沢。」「しいたけの原木をいただき、孫が今まで食べなかったのにパクパク食べるんです!」とニコニコしながら話してくれました。

西村さんが関わり、小原でも撮影された映画や番組が今後放映される予定です。これからの西村さんの活躍に期待です。



M.K



しいたけが好きになったお孫さん



西村さんが関わった小原を舞台にした作品

「POかほN」 2025年夏以降 全国単館系にて劇場公開
 「おはよう、家族」第1話 8月ひまわりネットワークにて放送予定
 【初回放送】8月4日(日)11:00~
 【再放送】8月の日曜日(8/11、18、25)11:00~、
 8月10日(土)24日(土)20:00~
 【放送チャンネル】ひまわり11(地上11ch)
 第2話 2024年秋・第3話 2025年春(撮影予定)
 「クオリア」 映画2023年公開



西村信彦さん

◆小原いろいろ情報

- 【10月5日(土)】
軽トラあんどんパレード
小原の山道に連なる、軽トラあんどんは見応えあり
- 【10月6日(日)】
明かりと戯れ影と遊ぶ
オバラおかげ祭り
- 影絵師・川村亘平氏のパフォーマンスやワークショップ、夜市など(和紙のふるさと)
- 【10月27日(日)】
小原文化まつり
小原歌舞伎公演
小原交流館
- 小原歌舞伎の公演をはじめ、小原地区の芸能や交流館講座の発表会
- 【11月】小原四季桜まつり
(小原地区)
秋に咲く桜をご覧ください
ます。11月16日~12月1日
- 【11月16日(土)】
おばらマルシェ with
和紙良いフェスタ
(和紙のふるさと)
- 作家さんとのワークショップや、地元のお店も多数出店するクラフトマーケット

おばら地区の物件を探すなら!

豊田市 空き家バンク
www.city.toyota.aichi.jp/akiya/

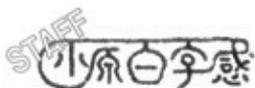


facebook



Instagram

ようこそおばら
 委員会の公式
 SNSに登録して
 くださいね。



編集後記

四季桜の起源はパンフレットに書いてありましたが、四季桜が小原に広く植わった理由や、四季桜まつりができた経緯を聞くことができました。タイトルにもあるようにまさに現代版「花咲じいさんたち」の熱い思いを知ることができました。

T.S(今回編集長)

毎年四季桜が咲くのは当たり前のことではなく、多くの方の協力のおかげなんだと実感しました。桜についても知らないお話ばかりでとても楽しく勉強になりました。今後は私達が四季桜を守っていかなければ!!

A.N

小原に住んだときには既に開催していた、四季桜まつり。改めて四季桜やまつりのルーツを聞きびくりにこの思いは大切にしていかなければ!取材を快く引き受けていただき有難うございました。今後も「小原」の素敵ところを発見したいです!

M.K

取材編集・委員募集~!

ようこそおばら委員会では編集に関わっていただける方を募集しております。年1回~2回程度の取材です。詳しくは下記までお問い合わせください。